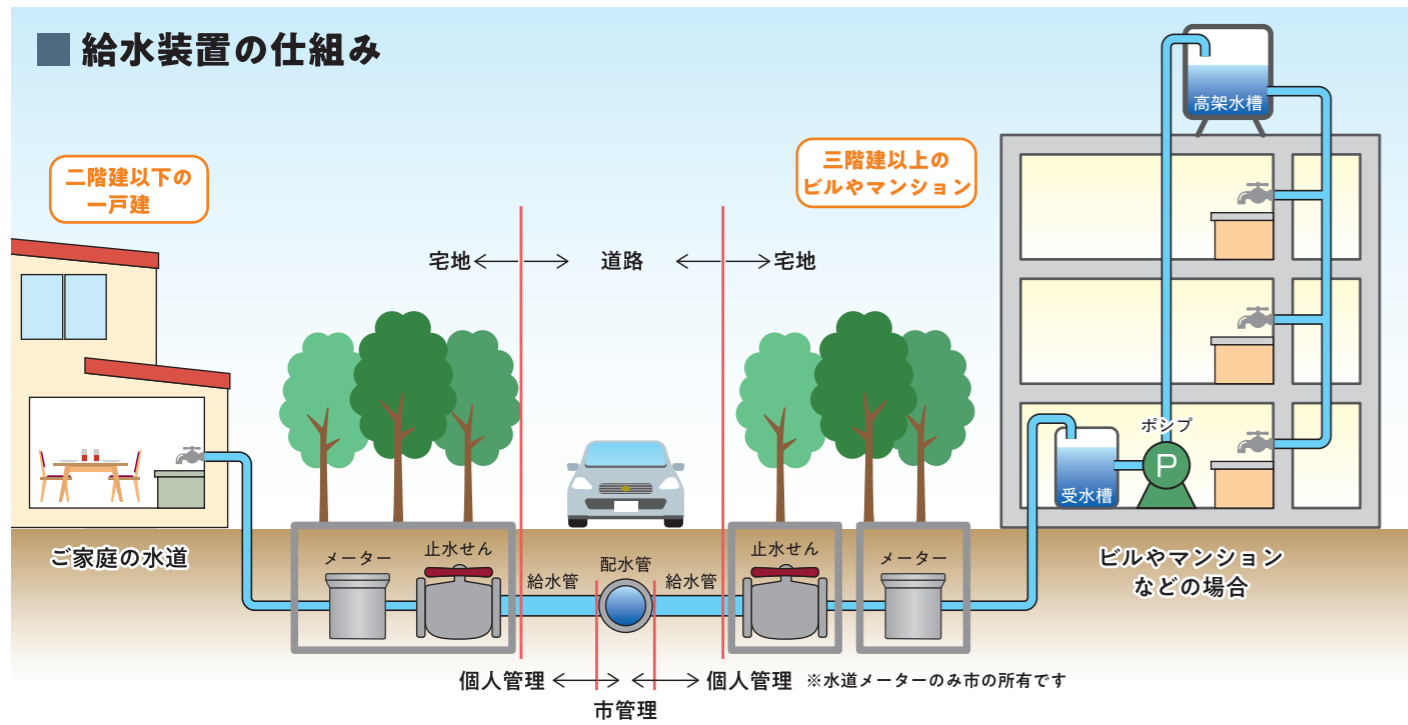
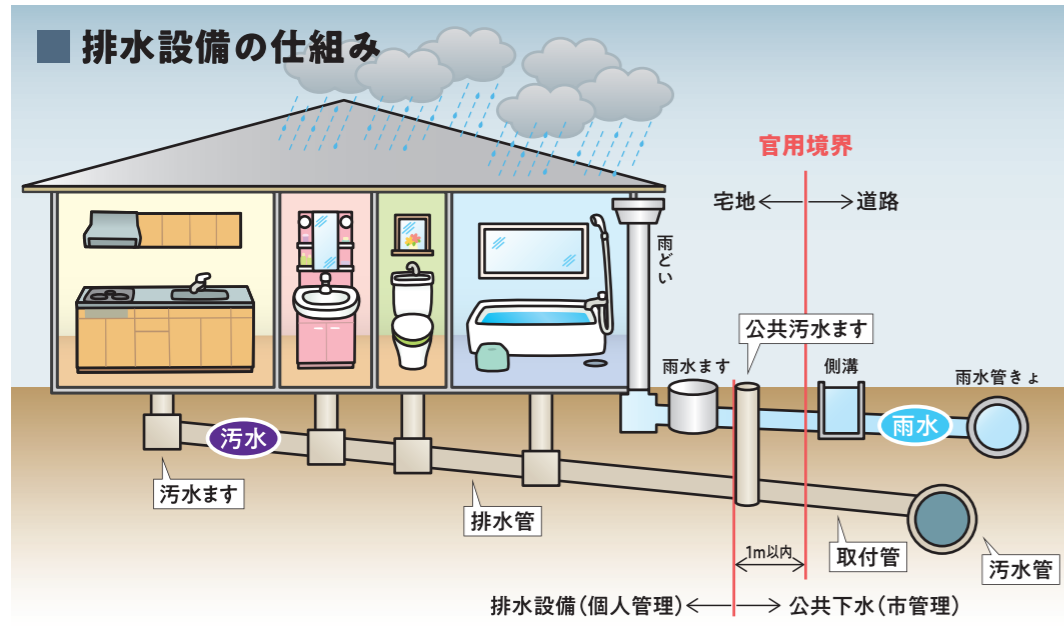


# 各家庭などの給水装置・排水設備の仕組みと管理区分



水道水は、道路の下に入っている配水管から分かれた細い給水管を通じて、配水管内の水圧を利用して、各家庭などに届けられています。各家庭などに引き込まれた給水管、止水せん、給水栓（蛇口）、メーターなどの器具を総称して「給水装置」と呼ばれ、給水装置はメーターを除きお客様の財産です。

したがって、この部分の新設・改造・修理の費用は、お客様の負担になります。ただし、配水管から分かれた部分から宅地内のメーターまでの漏水については、市で修理の対応をする場合もありますので、上下水道部までご連絡ください。



各家庭や事業所などから出る汚水は、排水管により公共汚水ますに集められ、道路の下の汚水管に流されます。宅地内の排水管や汚水ますは排水設備と呼ばれ、お客様の財産で維持管理や排水管の詰まり、破損の修繕などはお客様までしていただくことになります。道路から宅地側にある最初の公共汚水ますまでは、市の管理となり、公共汚水ますから道路側での詰まりや流れない場合は、上下水道部までご連絡ください。

# 木津川市の上下水道

## ～未来へつなぐ、安全・安心な水のあるまち～

上下水道部では、水道事業として安心して飲める水を安定的に供給し、公共下水道事業として各家庭などで使われ汚れた水をきれいに川に放流するなど、快適で衛生的な生活環境の確保に日々取り組んでいます。独立採算の公営企業として運営している上下水道事業（水道事業・公共下水道事業）は、皆さまからいただく水道料金や下水道使用料によって支えられています。今後も、生活に欠かすことのできないライフラインである上下水道事業を、将来にわたり安定的かつ持続的に提供できるよう、さらなるサービス向上や施設・管路等の適正な維持管理と更新・耐震化を図ってまいります。

上下水道事業は「独立採算制」です。

皆さまからの「料金等」が主な財源です。皆さまからいただいた水道料金と下水道使用料により、日々の運営を行っています。

施設の整備や更新に活用します。いただいた料金等をもとに、老朽化が進む施設や管路等の更新・耐震化を計画的に進めます。また、施設整備のために借りた資金も、皆さまの料金等から着実に返済していきます。

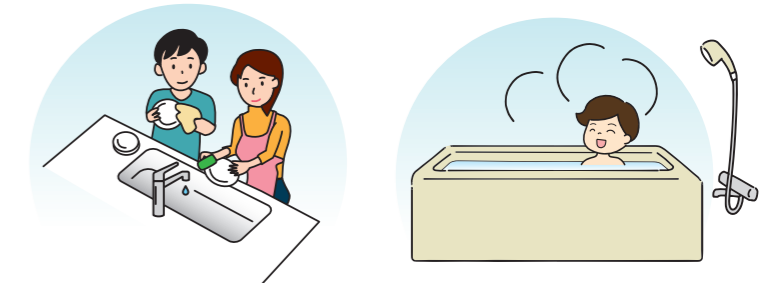
安全でおいしい水を、皆さまの元へ。地下水や川の水を浄水場できれいにして消毒までを行い、24時間365日、いつでも安全・安心な水を安定的に供給します。

使った水を、きれいに自然へ。浄化センターでは、汚れた水をきれいにし、再び循環の源となる川や海へと返し、まちの衛生や自然を守ります。

### 木津川市上下水道部



### 上下水道をご利用の皆さま



**水資源を大切に取る取り組み 普段からできるSDGs!**

**6** 安全な水とトイレを世界中に

**11** 住み続けられるまちづくりを

**14** 海の豊かさを守ろう

**水道水を利用しよう!**

ペットボトル水の代わりに水道水を飲むことで、プラスチックゴミの削減や輸送時のCO2排出の削減に貢献できます。

**下水道を正しく使おう!**

洗剤の量を減らし、油はふき取ってから洗うなどの取り組みで、資源の節約などに貢献できます。

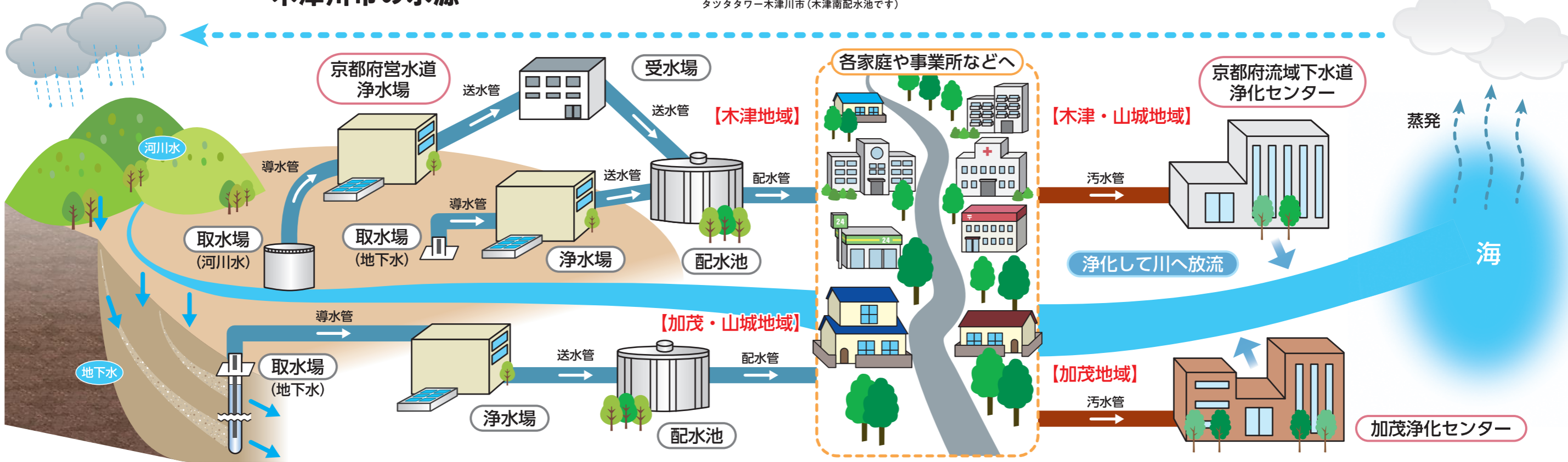
# 水道のしくみ



# 下水道のしくみ

## 木津川市の水道の水はどこからやってくる？ ～木津川市の水源～

※中央やや左にある茶色い塔のようなものが  
タツタタワー木津川市(木津南配水池です)



宮ノ裏浄水場

市の浄水場では、井戸からポンプで汲み上げた地下水を浄水処理し配水池に送水しています。



吐師受水場

市の受水場では、主に木津川を水源とする京都府営水道の木津浄水場で浄水処理された水を受け入れ、配水池へ送水しています。

水道水は、地下水や川から取水した水を浄水場でろ過などの処理を行い、消毒してから配水池に送水し、配水池から配水管で各家庭などに届けられます。市内すべての水道水の水質状況は、定期的に検査を実施し、国が定めた厳しい水質基準を満たしていることを確認しています。

木津地域には、川の水を浄水処理している京都府営水道からの水(府営水)を、もしくは、地下水を市の浄水場で浄水処理した水(自己水)と府営水を配水池でブレンドした水を供給しています。加茂・山城地域には、自己水100%の水を供給しています。

皆さまに安全・安心な水道水を届けるために、受水場2施設、浄水場5施設、配水池26施設、加圧ポンプ所8施設と総延長約537kmの管路(導水管、送水管、配水管)を24時間365日体制で管理しています。

ご家庭の台所やお風呂、トイレなどから出る汚水や、事業所から出る汚水は、地中の汚水管を通して浄化センターへ送られ処理されています。

加茂地域の汚水は市の加茂浄化センターで、木津地域の汚水は京都府流域下水道の木津川上流浄化センター(所在地:精華町)で、山城地域の汚水は京都府流域下水道の洛南浄化センター(所在地:八幡市)で処理されています。

また、木津川市の下水道は、汚水と雨水を別々に流す「分流式」という方式により、雨水は側溝や雨水管を通り、川へ流れていきます。



加茂浄化センター

家庭や事業所からの汚水は、浄化センターで汚泥などを取り除き、微生物などの力を借りてきれいにし、川へ放流しています。

## 水道水のペットボトル1本分(500ml)の値段は？

水道水のペットボトル1本分の値段は約0.09円です。  
1日1人あたりが使用する水の量は約300ℓで、500mlのペットボトル600本分に相当します。  
水道水の水質は52項目の水質基準に加え農薬などの厳しい検査に合格した安全な水です。

